令和８年 第１５回

川西市教育委員会（定例会）議案書

川 西 市 教 育 委 員 会

令和８年 第１５回
川西市教育委員会（定例会）議事日程表

会議日時　　令和８年９月１６日（水）　午後２時００分から
場　　所　　川西市役所　４階 庁議室

日程番号	議案番号	付議事件	備考
1		議事録署名委員の選任	
2		前回議事録の承認	
3		教育委員の活動について	
4		諸報告　清和台地区の学校のあり方検討の進捗報告について	
5		諸報告　こども誰でも通園制度の利用状況等について	

諸　報　告

令和８年９月１６日（水）

１．清和台地区の学校のあり方検討の進捗報告について

（教育政策課）

２．こども誰でも通園制度の利用状況等について

（入園所相談課）

第10回　清和台地区学校のあり方を検討する懇話会



令和8(2026)年8月5日
於：清和台中学校
午前10時～

はじめに

第10回懇話会のゴール

1. 第3回地域説明会で出た意見や小学校保護者との個別意見交換会で出た意見を共有し、今後の方向性についてご意見をいただく。
2. 今後の意見交換の方法について、ご意見をいただく。

目　次

1. 地域説明会での意見について

2. 児童生徒との意見交換について

3. 保護者との個別意見交換会での意見について

4. 今後の清和台地区の方向性について

5. 今後のスケジュールについて

説明会で出た質問《C案、まちづくりについて》

質問(C案)

①新校舎はどこに建設するのか。清和台中学校の校舎はそのまま使用するのか。小学生はどこで生活をするのか。

⇒川西養護学校の校舎を建て替える予定。また、清和台中学校は1部を改修し、使用する。小学生は、新しい校舎を使用したり、中学校の校舎を使用して生活をする。

②A～C案に対する保護者の意見交換の結果について、詳細を知りたい。

⇒意見交換、アンケートの結果としては、A案32人、B案48人、C案63人

③C案の場合、中学校と同じ校舎になるが、給食はどうなるのか。川西養護学校の給食もあるため、配慮が必要だと思う。

⇒給食については、清和台も含め、川西市全体としてこれからの学校給食のあり方を検討していく必要があると考えている。

質問(まちづくり)

①統合により、どこかの学校が跡地となることが決まったと思うが、跡地については今後、どのように開発していくのか。

⇒方向性が決まり、どこの学校ということが決まれば、地域や保護者の方の声を聞く場を設定したいと思っている。

説明会で出た質問《開校時期、意見収集の方法について》

質問(開校時期)

①小学校2校を先に統合する案については、どの程度考えられているのか。先に統合するとすれば、時期は決まっているのか。

⇒現在、保護者の意見を聞いているところだが、保護者の意見としては、早く統合して欲しいという意見が多い。その意見もふまえて、12月の説明会ではお伝えできるようにしたい。時期としては、統合の準備も必要なため、令和11年度頃になると考えている。

②6年生の最後の1年間で学校が変わることについては、どう考えているのか。

⇒どこかの学年は残り1年で学校が変わってしまうのは避けては通れないが、学校とも相談をしながら、子どもたちの気持ちに寄り添い、できる工夫はしていきたいと考えている

意見(意見収集の方法)

①子どもの意見を聞いていることはとても良いことだと感じる。今後も、新しい学校のコンセプトなど、子どもの意見を聞きながら進めて欲しい。

②市民に幅広く意見を聞くこのような機会を今後も多く用意して欲しい。

③市長のSNSのメッセージを聞くと、令和14年度に統合することが決定し、だいぶ先の話のように聞こえた。今回の説明会を聞くと先に小学校の統合を検討するなど、まだ決定していないことも多いので、市民が勘違いをしないように、広報をしていって欲しい。

説明会で出た質問《その他の意見について》

質問・意見(その他)

①スクールバスの場合、自転車通学の生徒もいるため、安全や住環境を守るようにして欲しい。
②新校舎を建設すると、どの程度の予算を想定しているのか。
⇒何十億という費用は発生する。ただ、国の補助金を活用しながら、市民への負担は生じないようにしていく。
③工事の騒音や振動で、中学校の授業に影響が出ないようにして欲しい。
④工事期間は3年では短いのではないかと感じる。子どもたちにとって良い校舎を、できるだけ効率よく建ててもらいたい。例えば、小学校が先に統合する場合、空いた校舎を川西養護学校の仮設校舎にするなど、工夫して実施して欲しい。
⑤川西市では、入学する学校を選ぶことはできるのか。
⇒隣接校区校選択希望制度があり、入学者数の5%にはなるが、隣の校区の学校に入学できるという制度がある。
⑥同じ中学校区なので、けやき坂小にも説明をするべきではないか。けやき坂小も児童数が減っていると聞くので、一緒に考えた方が良いのではないか。
⇒けやき坂の地域の方と、どのように保護者や住民に伝えていくのかを検討していく。

懇話会の皆さまで検討いただきたい質問・意見

①川西養護学校とはどのような交流を行うのか。小中一貫教育とはどういうものなのか。
などを保護者がイメージすることが難しい。どのように保護者に伝えたらよいか。

教育委員会の対応案

可能であれば、実際に学校を訪問する機会をつくり、授業の様子を見ていただく。そのほか、他市の事例を紹介する。

②先に小学校を統合した場合、子ども（現4歳、現5歳）によっては3つの小学校に通うことになる。
その部分のケア（子ども・保護者）について、どのような対応が必要か。

教育委員会の対応案

統合までの準備期間で、学校生活のルールや教育課程の共通化を図り、交流等を通じて子どもに伝えていき、開校時に戸惑わないように進めていく。

③「就学前の意見が少ないように感じる。どのように意見収集を実施したのか。」というご意見をいただいた。就学前の保護者が参加しやすい意見交換会の実施方法はどのようなものか。

教育委員会の対応案

意見交換会の日程を1週間予定し、保護者が参加しやすい時間や曜日を選択して意見交換できるようにする。

今後の意見交換の実施方法について

未就学児保護者対象　意見交換会

対象

清和台地区に在住の未就学児保護者（就学前施設に通う保護者を含む）
※世帯数　約240世帯、児童数　約300名（きょうだいが小学校に通う世帯を含む）

テーマ

C案を進める際の懸念事項などを意見交換する。
先に小学校2校を統合することについてどう思われるかを意見交換する。

周知・開催方法

①就学前の家庭に案内文を郵送にて通知する。
②開催日は休日を含む1週間予定し、保護者が参加しやすいようにする。
③参加できない保護者のために意見交換会で使用する資料も添付し、アンケートでも意見が言えるようにする。
※他に保護者の方が参加しやすい方法が他にあれば教えてください。

今後の意見交換の実施方法について

未就学児保護者対象　意見交換会　開催方法（案）

開催方法（案）
①就学前の家庭に案内文を郵送し、意見交換会の開催日を案内する。
②保護者の方が参加できる日程をWeb上のアンケートで回答する。
③アンケートを集計し、1人以上の参加がある日程には、30分間の意見交換会を開催する。
④開催場所は公民館、またはオンラインで開催する。

	○日（月）	○日（火）	○日（水）	○日（木）	○日（金）
15:00～					
15:30～					
16:00～					
16:30～					

	○日（土）
9:00～	
9:30～	
10:00～	
10:30～	

意見や感想等について

今説明させていただいた地域説明会で出た意見や質問について、どのように考えますか。懇話会の皆さまのご意見をお聞かせ下さい。

目　次

1. 地域説明会での意見について

2. 児童生徒との意見交換について

3. 保護者との個別意見交換会での意見について

4. 今後の清和台地区の方向性について

5. 今後のスケジュールについて

児童との意見交換について

川西養護学校

時期　6月16日、6月25日
対象　川西養護学校　小学部・中学部・高等部
学習の流れ

①川西養護学校の校舎を新しくすること、「学校のあり方」について検討されてきたことを子ども達と共有する。

②小学校や中学校と一緒にしてみたいことについて話し合う。

清和台中学校

時期　6月29日
対象　清和台中学校2年生　4クラス
学習の流れ

①「学校のあり方」について、これまで検討されてきたことを学ぶ。

②小学校や川西養護学校と同じ敷地内でともに学ぶ教育環境について、良いと思うこと、心配に思うこと、事前に交流できることを考える。

川西養護学校　児童生徒の意見

川西養護学校の好きなところ（新しい学校でも残していきたいこと）

①体を動かすこと
- 体育館のトランポリンやブランコ
- 中庭のブランコ
- プールの授業

②音楽室でみんなで楽器を演奏すること
③「こころ」の時間

※コミュニケーションんを学んだり、それぞれの課題に取り組んだりする「自立活動」のひとつ

④寝転がってリラックスできるところ
⑤光の部屋（スヌーズレン室）
⑥おいしい給食
⑦バスに乗ること

小学校や中学校と一緒にしてみたいこと（どんな交流が考えられるか）

①あそぶ
②勉強
③お出かけ
- 遠足
- お泊まり

④ダンス
⑤給食を一緒に食べる
⑥みんなで音楽会や運動会
⑦野菜の収穫

清和台中学校　生徒の意見

「学校のあり方」についての感想や意見

①子どもの数がこんなに減っていると思わなかった。自分は小学校で単学級だったので、クラス替えをしたかった。
②いろいろな人と関わり、自分に合う人と出会える可能性が高まるので良いと思う。
③川西養護学校の子のことを知ることができて良いと思う。
④「〇〇学園」のような かっこいい学校名をつけたい。
⑤上下関係による対立や、人間関係のトラブルが増えないか心配。
⑥人が増えることで、騒がしくなったり運動場の利用が制限されたりしないか心配。

事前準備としてできそうなこと

⑦共同プロジェクトやイベントを企画したり、地域行事で一緒に何かしたりする
⑧お試し期間をつくって、同じ校舎で生活してみる

学習の様子

学習の様子 （川西養護学校）





学習の様子 （清和台中学校）





目　次

1. 地域説明会での意見について

2. 児童生徒との意見交換について

3. 保護者との個別意見交換会での意見について

4. 今後の清和台地区の方向性について

5. 今後のスケジュールについて

小学校保護者との個別意見交換会結果

清和台小学校

実施日　7月2日（木）～7月7日（火）　　13:30～17:00
意見交換できた人数　　100名（家庭数137）　回答率　73%

清和台南小学校

実施日　6月17日（水）～6月23日（火）　14:00～17:00
意見交換できた人数　　108名（家庭数137）　回答率　79%

質問内容

①令和14年度に開校となった場合、6年間単学級のまま運営することになります。先に小学校2校だけで、令和11年度に統合することについて、どのように思われますか。
②先に統合する場合、スクールバスで支援をしますが、もう片方の学校（清小or清南小）になる可能性もありますが、それについてどのように思われますか。

小学校保護者との個別意見交換会結果

保護者意見の傾向

①令和14年度に開校となった場合、6年間単学級のまま運営することになります。先に小学校2校だけで、令和11年度に統合することについて、どのように思われますか。

保護者意見の傾向	清和台小	清和台南小	合計
先に2校が統合した方が良い	75	73	148
どちらでも良い	11	9	20
仕方ない	7	19	26
先に2校が統合しない方が良い	7	7	14

②先に統合する場合、スクールバスで支援をしますが、もう一方の学校（清小or清南小）になる可能性もありますが、それについてどのように思われますか。

保護者意見の傾向	清和台小	清和台南小	合計
統合先がもう一方の学校になっても良い	85	83	168
仕方ない	10	18	28
統合してもう一方の学校になるのは困る	5	5	10

小学校保護者の意見（まとめ）

先に小学校2校が統合することについて

先に統合した方が良い

①なるべく多くの人との関わった方が良いと思うし、クラス替えができる方が良い。単学級で何かあった時にクラス替えできず、逃げ場がないのはやはり心配。
②同学年の人数が少な過ぎる。統合した方が友達がたくさんできる。幼稚園の友達と一緒になれるから良いと思う。
③中学校でいきなり人数が増えるより、小学校のうちにたくさんの人数に慣れた方が良い。
④令和14年度に一気に環境が変わるより、統合した方が徐々に慣れていくことができる。
⑤6年生で場所が変わるのは少し抵抗があるが、どこかの学年が受け入れないといけないから仕方ない。先に中学校に行く友達と出会えると思えたらいい。
⑥今は同学年の同性の友達が少ないので、人間関係が難しい。

どちらでも良い

①単学級の良さもあると思うし、クラス替えできた方が良いとも感じる。
②友達が多くなるのは良いと思うが、今も問題がないのでどちらでも良い。スクールバスが出るならばどちらでも良い。

小学校保護者の意見（まとめ）

先に小学校2校が統合することについて

仕方ない

①高学年は人間関係ができあがっての統合となるので、学年の団結力や行事の一体感が生まれるか不安はある。
②単学級が問題とも思わないが、単学級が心配という声が多いなら、統合も良いと思う。
③慣れたところで数年でまた学校が変わるのは子どもが大変だと思うが、単学級が解消できる方がよい。

先に統合しない方が良い

①2回も環境が変わることは、子どもも先生も適応するまでの負担が大きいと思う。今のままで令和14年度に一度に統合の方が良いのではないか。
②6年生の時に統合する児童にとっては、あと一年での統合はどうかなと思う。
③生活リズムが馴染んだ頃に場所も通学方法も変更となるのは辛い。
④学校の近くに家を買ったので、通う場所が変わることは避けたい。
⑤親も卒業しており、思い入れがあるため、この学校で卒業させたい。

小学校保護者の意見（まとめ）

統合先が、もう一方の学校になることについて

もう一方の学校になっても良い（仕方ない）

①スクールバスがあるなら安心して登校できる。
②清和台地区内であれば、それほど遠くないから歩いて行けるのではないか。
③家が中間地点なので、どちらの学校でも対応できる。
④スクールバスがあれば良いが、運用方法が気になる。どこで乗り降りするのか、学童に対応できるのかなども考えて欲しい。
⑤学校の近くだから家を買ったという思いはあるが、仕方ない。
⑥最近のニュースから、バスの安全性も気になっている。安全に運行してほしい。

もう一方の学校になるのは困る

①決まった時間に乗車できない場合はどうなるのか気になる。保護者の送迎が難しい。
②スクールバスで登下校となると、時間に縛られそうに感じる。
③最近は猛暑で、荷物も重くなっており、通学距離がのびるのは心配。
④大通りを渡らせるのは心配。

目　次

1. 地域説明会での意見について

2. 児童生徒との意見交換について

3. 保護者との個別意見交換会での意見について

4. 今後の清和台地区の方向性について

5. 今後のスケジュールについて

今後の清和台地区の方向性について

C案で検討を進める際の協議事項に対する検討案について

開校まで時間を要することについて

小学校の保護者への聞き取りの結果、清和台小学校と清和台南小学校の2校を先に統合する方向で理解が得られそうである。今後は、就学前の保護者へ聞き取りを進めていく。

※統合先は、清和台小学校を第1候補として検討する。

※統合時期は、令和11年度で検討する。

その際に検討すること

通学支援について

先に小学校2校が統合した場合、令和11年度よりスクールバスを運用し、通学の負担が大きくなる児童を支援する。

川西養護学校の仮設校舎について

2つの小学校のうち、統合により空いた校舎を仮設校舎とし、令和11年度2学期より使用できるように改修工事を実施する。

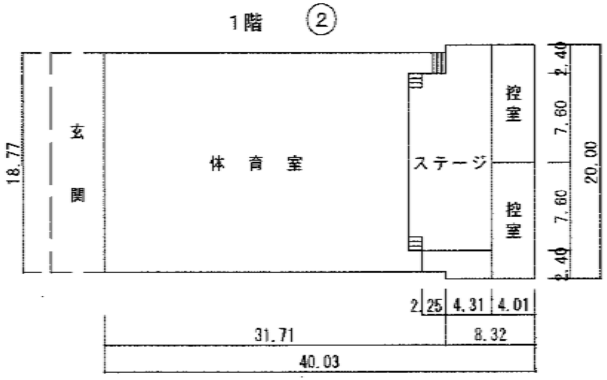
※仮設校舎は清和台南小学校の校舎を第1候補として検討する。

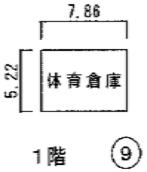
今後の清和台地区の方向性について

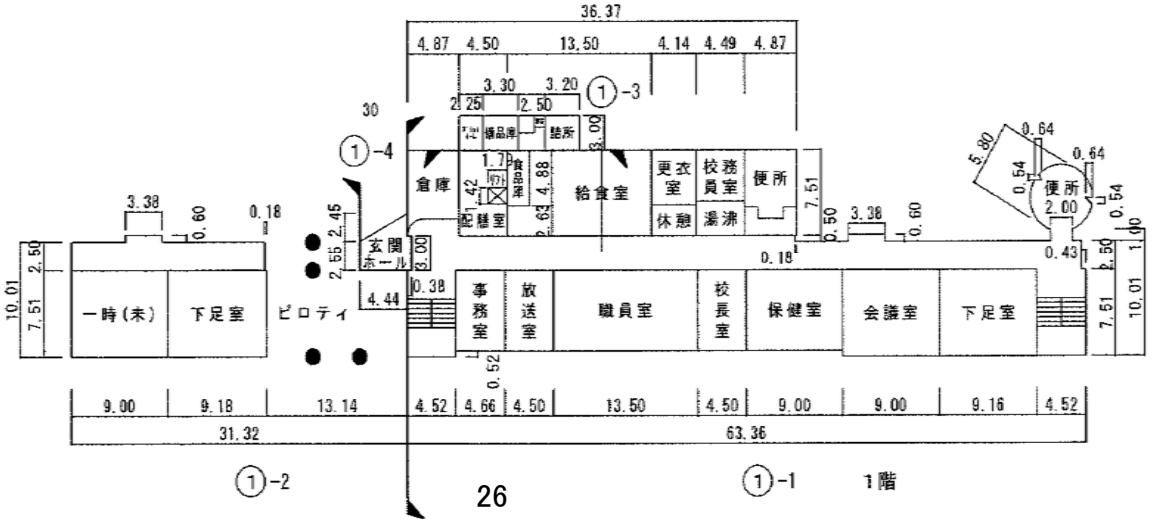
清和台小学校の校舎配置図

【１階】





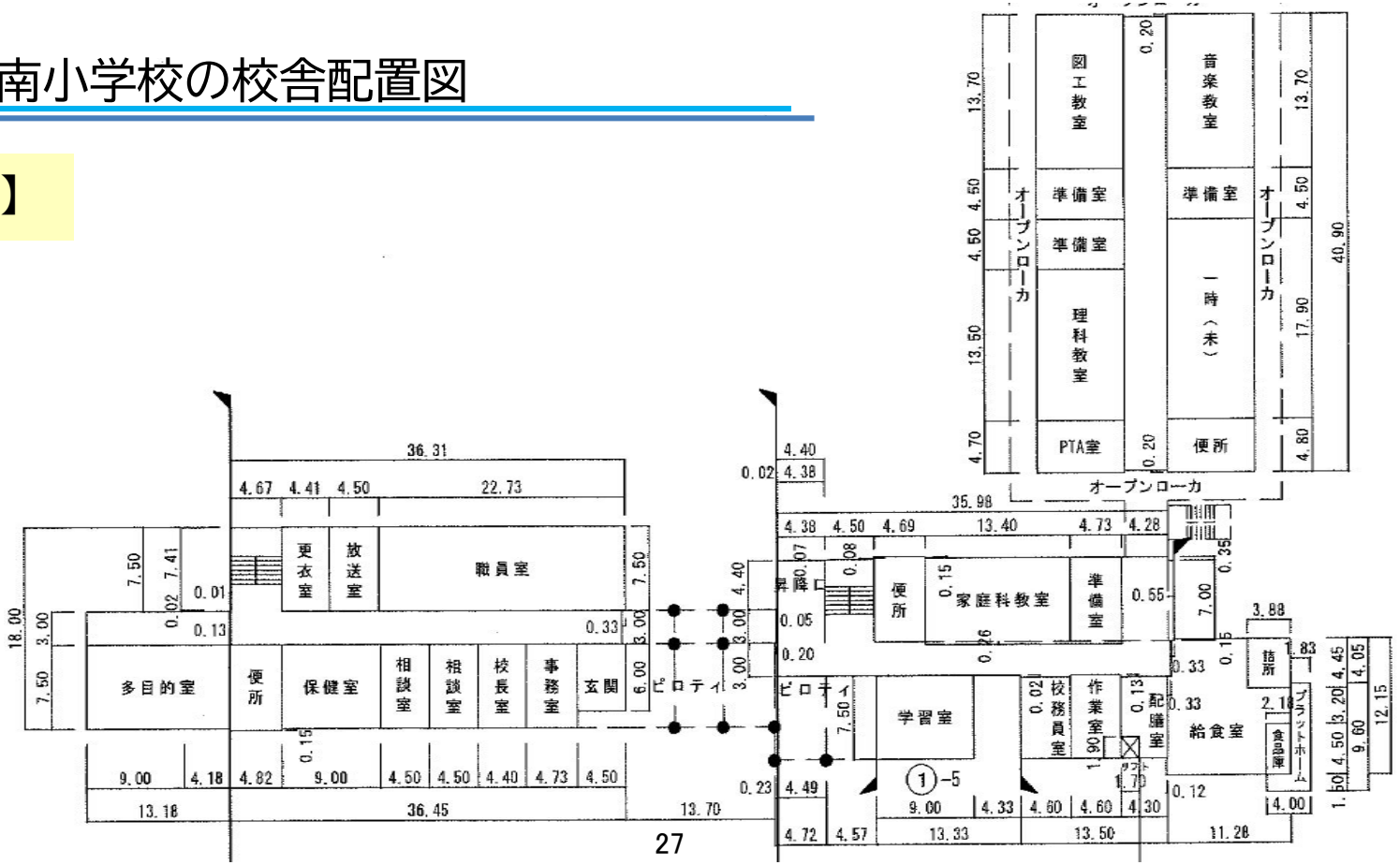




今後の清和台地区の方向性について

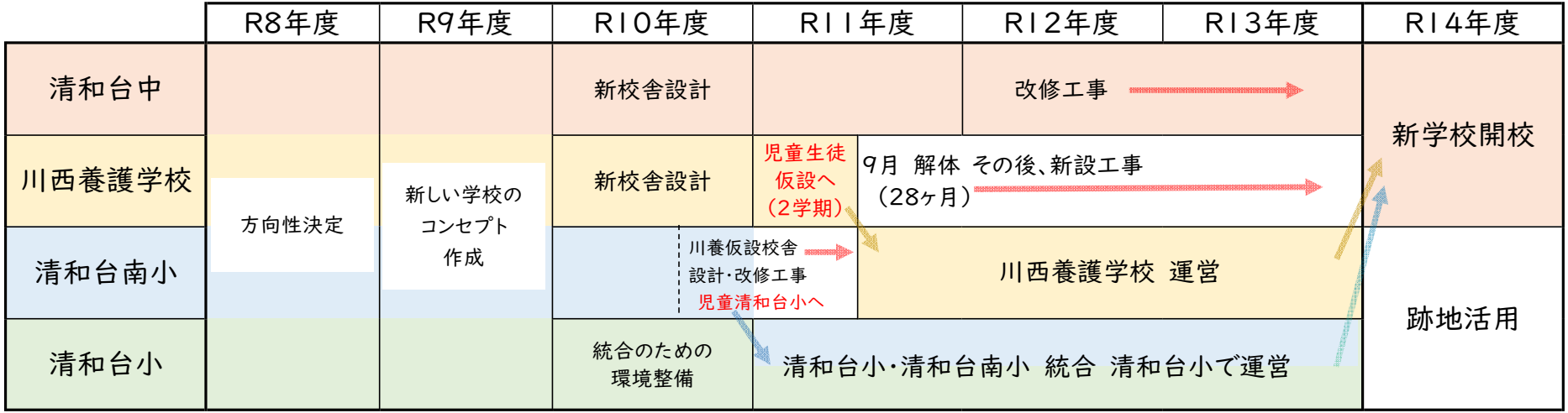
清和台南小学校の校舎配置図

【１階】



今後の清和台地区の方向性について

先に小学校2校を統合する場合の流れについて（案）



今後の清和台地区の方向性について

先に小学校2校を統合した場合の推移について

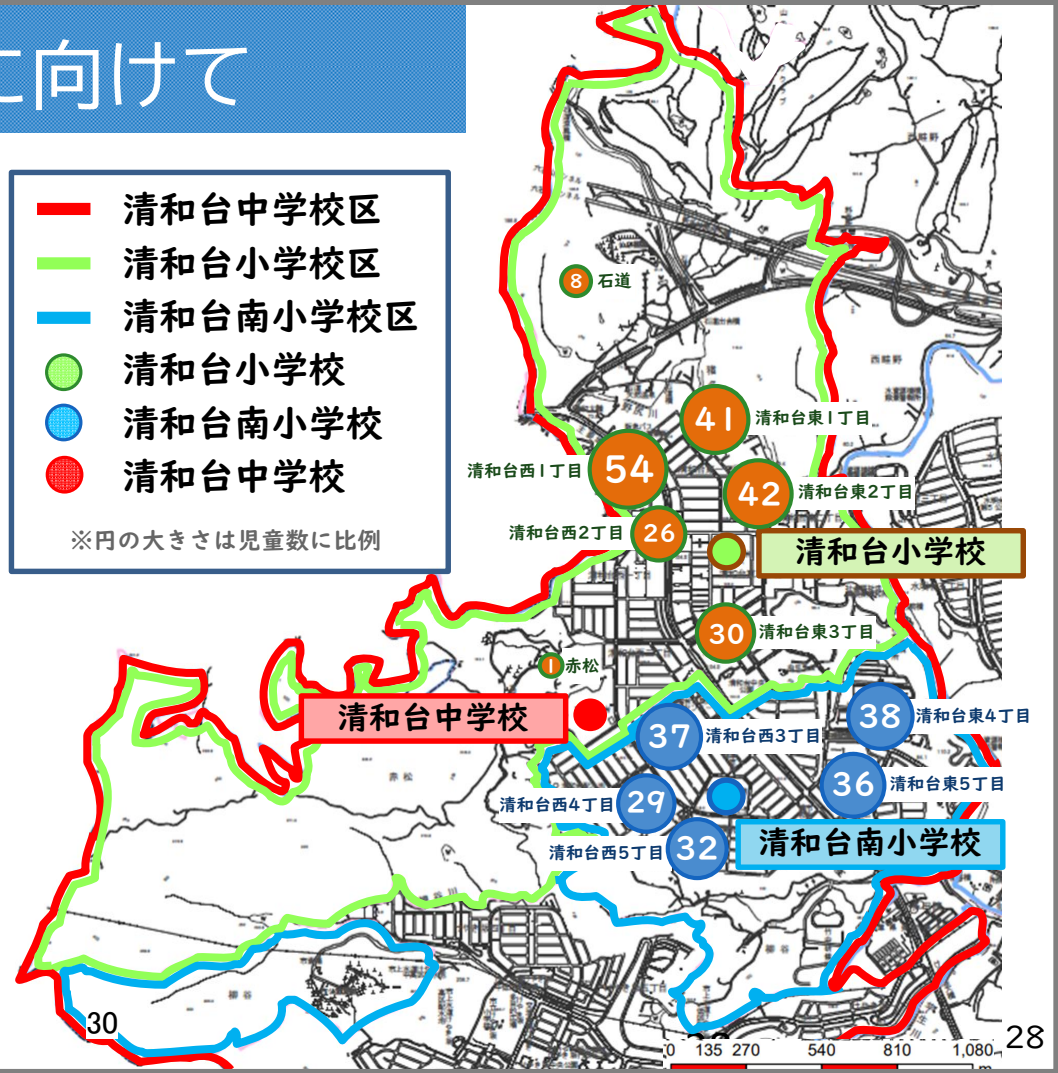
現時点	◀--- 現状のまま運営 ---▶		◀--- 小学校2校が統合 ---▶			新学校開校
R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度
0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1(58人)
1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	小1(45人)	小2
2歳	3歳	4歳	5歳	小1(58人)	小2	小3
3歳	4歳	5歳	小1(62人)	小2	小3	小4
4歳	5歳	小1	小2(38人)	小3	小4	小5
5歳	小1	小2	小3(60人)	小4	小5	小6
小1	小2	小3	小4(62人)	小5	小6	中1
小2	小3	小4	小5(59人)	小6	中1	中2
小3	小4	小5	小6(50人)	中1	中2	中3
小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1
小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2
小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3

スクールバス運行に向けて

令和７年度
清和台地区　子どもの分布図

※令和７年度の児童がどこに住んでいるのか
を丁目別に表しています。

	校　区
清和台小	石道、虫生、赤松 清和台東1丁目～3丁目 清和台西1丁目・2丁目
清和台南小	柳谷、清和台東4丁目・5丁目 清和台西3丁目～5丁目 多田院字滝ヶ原・駒塚 井戸ヶ上 多田院西2丁目5番



スクールバス運行に向けて

スクールバス運行までのスケジュール

《保護者と地域が主体となり、教育委員会がサポートしながら進めていきます》

令和8年度	1月　スクールバスを検討する組織の立ち上げ 乗車に関するニーズの保護者アンケートを実施 ※乗車希望の有無、乗車場所、集合時間、運行方法などについて
令和9年度	4月～9月　スクールバスの乗車範囲、乗車場所について検討 ※乗車場所は地域も関わるため、各地域の方にも集まっていただき、検討する。 10月　スクールバス使用台数決定　⇒　令和9年度12月補正予算 3月　スクールバス発注
令和10年度	9月　運行ルート、運行時間　最終決定　⇒　運行契約 2月　スクールバス納車 3月　試行運転

意見や感想等について

今説明させていただいた清和台地区の今後の方向性について、どのように考えますか。懇話会の皆さまのご意見をお聞かせ下さい。

目　次

1. 地域説明会での意見について

2. 児童生徒との意見交換について

3. 保護者との個別意見交換会での意見について

4. 今後の清和台地区の方向性について

5. 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて

川西養護学校保護者対象　意見交換会

対象

川西養護学校の保護者

テーマ

これからめざす教育環境であるC案を進める際の交流方法や懸念事項などを意見交換する。

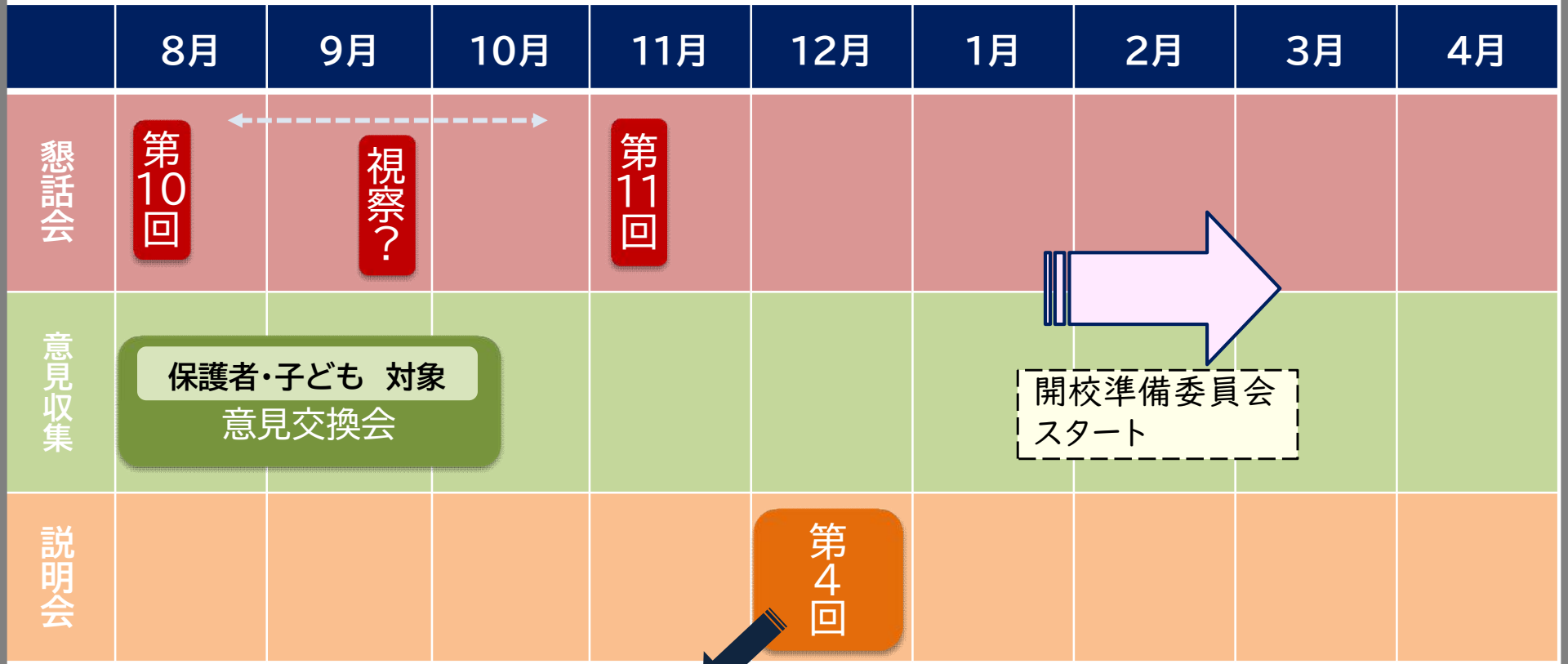
周知・開催方法

①ミマモルメで各家庭に周知する。
②保護者が学校に多く来られる『わくわくデー（9月8日）』などを利用し、開催する。

開催内容

①C案の教育環境について説明をする。
②C案を進める際、どのような交流方法を望むか、C案になった時の懸念事項はどのようなものがあるかについて、意見を伺う。
③川西養護学校の仮設校舎について意見を聞く。
④来られない保護者のためにアンケートも実施する。

今後のスケジュール（イメージ図）



令和８年度　こども誰でも通園制度利用状況（７月末時点）

1　市民の認定・利用状況

	４月			５月			６月			７月		
	認定こども数（人）	利用実人数（人）	利用時間（時間）	認定こども数（人）	利用実人数（人）	利用時間（時間）	認定こども数（人）	利用実人数（人）	利用時間（時間）	認定こども数（人）	利用実人数（人）	利用時間（時間）
０歳児	19	4	10.0	25	8	41.0	33	11	58.0	45	14	61.0
１歳児	43	10	30.0	49	23	123.0	52	30	140.0	55	33	160.5
２歳児	22	4	12.0	29	10	47.5	34	14	70.0	32	17	99.0
合計	84	18	52.0	103	41	211.5	119	55	268.0	132	64	320.5

※市民の広域（他市施設）利用を含む。

※枠消費するキャンセル分を含む。

2　市内施設別利用状況

	実人数（人）		延べ人数（人）		延べ利用時間（時間）	
	総数	総数（内）	総数	総数（内）	総数	総数（内）
牧の台みどりこども園	19	19	128	128	252.0	252.0
加茂こども園	21	21	88	88	172.0	172.0
川西こども園	17	14	106	86	212.0	172.0
川西北こども園	16	15	88	84	175.0	167.0
新清和台こども園	1	1	2	2	4.0	4.0
合計	74	70	412	388	815.0	767.0

※（内）の数値は、総数のうち、市民の利用者の人数及び時間数

※実人数は各施設毎の人数であるため、複数施設の利用者がいる場合、合計は実際の実人数と一致しない。

※枠消費するキャンセル分は含まない。

※市立は4月から、民間は7月から実施している。